

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

8. 会議の経過

令和7年2月12日（水）午前10時36分開議

○委員長（木村得道君） ただいまから総務企画常任委員会を開会いたします。

初めに、飯塚誠委員から本日の委員会を欠席する旨の届出がありましたので御報告いたします。

本日は、今臨時会において付託されました議案1件について審査いたします。

議案第1号、令和6年度我孫子市一般会計補正予算（第11号）について、当局の説明を求めます。

○財政課長（加藤靖男君） 議案第1号、令和6年度我孫子市一般会計補正予算（第11号）について御説明いたします。

補正予算書の1ページを御覧ください。

今回の補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ8,000万円を追加し、予算総額を494億6,200万円にするとともに、継続費、繰越明許費及び地方債の補正を行うものです。

4ページを御覧ください。

第2表継続費補正は、継続費を変更するものです。

款8消防費、項1消防費の消防施設等整備事業は、（仮称）湖北消防署南側敷地造成工事における工事監理業務委託料について、液状化抑制のための地盤改良工事の実施による工期延長と業務量の増加に伴い、総額と令和7年度年割額をそれぞれ743万6,000円増額します。

5ページを御覧ください。

第3表繰越明許費補正は、繰越明許費を新たに設定するものです。

款8消防費、項1消防費の消防施設等整備事業は、（仮称）湖北消防署南側敷地造成工事について、地盤改良工事の実施に伴う工期の延長により年度内の完了が困難なため、繰越明許費として1億4,784万4,000円を計上します。

6ページを御覧ください。

第4表地方債補正は、地方債の限度額を変更するものです。

（仮称）湖北消防署整備事業は、南側敷地造成工事における液状化抑制のための地盤改良工事の実施に伴い、起債限度額を増額します。

次に、事項別明細書により歳入の主な項目について御説明します。

13ページを御覧ください。

款19繰入金、項2基金繰入金、目3公共施設整備基金繰入金と、款22市債、項1市債、目6消防債の（仮称）湖北消防署整備事業債は、南側敷地造成工事における液状化抑制のための地盤改良工事の実施により、それぞれ1,980万円と5,950万円を増額します。

次に、歳出の主な項目について御説明します。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

15 ページを御覧ください。

款8 消防費、項1 消防費、目1 常備消防費の（仮称）湖北消防署敷地造成工事費は、南側敷地造成工事における液状化抑制のための地盤改良工事の実施により、7,938万9,000円を増額します。

以上で説明を終わります。十分な御審議の上、御可決いただきますようお願いいたします。

○委員長（木村得道君） 以上で説明は終わりました。

議案第1号につきましては、議事整理の都合上、歳入歳出予算の補正、継続費の補正、繰越明許費の補正、地方債の補正を一括して審査いたします。

なお、予算書及び説明資料のページを発言してから質疑されるようお願いいたします。

これより議案第1号に対する質疑を許します。

○委員（深井優也君） 御説明ありがとうございました。

予算説明資料6ページ、一番最後の当初ボーリング調査位置図のところなんですけれども、こちら幼稚園のほうの右下部分ですね、幼稚園の子供の館と書いてあるんですかね、これの位置のところが新たにボーリング調査したというところかなと思うんですけれども、それで合っていますでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 今回調査した場所は委員お話しのとおり、子供の館ですね、東側の境界沿い、擁壁沿いに沿ったような形で調査を実施しております。

○委員（深井優也君） こちらですけれどもボーリングNo. 6というところとボーリングNo. 5というところの間ということ、当初の予定だと、その間だから同じような数値になるだろうという想定でやられていたと思うんですけれども、実際のところもう一度測って見たら、6とかなり近いと思うんですけれども、違う結果が出たということによろしいのでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 委員お話しのとおりです。

○委員（深井優也君） そうなると軟弱な地盤だというのは、事前には分からなかったということかなと思うんですけれども、私もちょっとヒアリングした上で、もうちょっと上の北のほうの東側、もう既に道路を施工されているのかなと思うんですけれども、そのあたりのところで当初の工事施行よりも、工事の改良工事、浅層工事ですか、が内容がもうちょっと手厚いものというか、そのときに軟弱地盤みたいなのが想定できたんじゃないかなというのを思うんですけれども、その辺はどうなんでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 当初のNo. 5、No. 6、あとその中間ほどにありますサンプリング調査等実施した中で、軟弱地盤という想定は当初の調査でもある程度把握していた部分になります。

ただ、液状化の部分で、液状化については結果出ておりませんでしたので、軟弱地盤だけであれ

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ば、浅層改良というような改良の方向性も結果としてはあったかと思うんですけれども、今回液状化も含んだ中での対策ということで、このような工法の選択になったという形でございます。

○委員（深井優也君） 承知しました。

となると、もう道路施工したところに関しては、液状化はないということで既に道路の改良をしたという認識でよろしいんですか。今後、多分大きな道路として、そっちのほうも結構影響出るのかなと思うんですけれども、これはまた道路の話なんで、今回は関係なく、次のときにまた液状化も踏まえて、大きな改良工事も検討が必要なのかなということを想定されているのか、お聞きしたいです。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 道路の部分は、道路課の所管の部分になりますので、消防のほうでも把握し切れていない部分はあるかとは思いますが、付け替え道路を施工する場合は、調査をした中で必要な対策を講じて、道路のほうの工事を実施したということで承っております。

今後の都市計画道路の延伸の話としてもお伺いがあったのかなと思いますけれども、そこは道路課の所管で進めていくと思いますので、こちらからの回答は控えさせていただければと思います。

○委員（深井優也君） 承知しました。

細かい情報等も住民の方も知りたいなと思うと思いますので、今回臨時会であまり情報が出ないままこういった議論になっちゃっているところはあるんですけれども、一応予定としては3月議会のほうで、また市民も情報が伝わって、その上で議員も判断できる時間がまだあるという、急ぎというところも先ほどの発言で分かったんで、そこに関しては急いだほうがいいかなと思うんですけれども、ちゃんとまた議論できる場が用意されているということで、そのときには資料が用意されるという認識でいいのか、お伺いしたいです。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 3月の議会に議案を上程させていただきますので、資料を御提供させていただくというような形で対応させていただきます。

○委員（西川佳克君） 予算説明資料の6ページ、当初のボーリング調査位置図というところで、先ほど説明をしていただいたこととちょっと重複するんですが、サンプリングナンバーAと下の赤字のボーリングNo. 6。この前の資料のところで言うと、このところにのり面液状化ということなんですけれども、実際にここどの辺りでそのボーリングを調査して液状化というのが分かったのか。ちょっとこの図の中でどの辺りなのか、説明していただくことは可能ですか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） こちらの位置図のほうでサンプリングAとボーリングNo. 6という部分あるかと思うんですけれども、大まかでいいますとその間というような形になりまして、この境界沿いにちょっとくの字になっているかと思うんですが、その辺りで調査のほう実施しております。1か所ということではなくて、数か所調査をしております。

○委員（西川佳克君） そうすると先ほど言った水防倉庫とか防災倉庫に関係してくるということ

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

で、予算の中でも3月末に使うということだったんですが、ちょっとこの図でお話を聞きたいんですが、実際に駐車場のほうには影響ないという考え方で、理解でよろしいでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 影響ないということで、設計会社とも確認を取っております。

○委員（西川佳克君） なぜこの質問したかという、皆様も御承知のとおり埼玉県八潮市で下水道管のいろいろな問題が発生して、もちろん我孫子市もそれに関係するようなことをされていると思うんですけれども。つまり、液状化というのは1点だけでなく、やっぱり範囲が広がっていくと思いますし、また、地震の震度によって全然変わってくると思うので、ここだけの影響で終わるのかどうかというのはちょっと心配なので。もちろん市民の安心・安全の対策ということで理解はできるんですけれども、本当にこれ以外のところは大丈夫なのかというのが私の見解なんですけれども、そのあたりはいかがでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 全ての場所で、絶対にということではありませんが、詳細な全てのデータを取るためには、全ての場所で調査は必要になってきてしまいますけれども、今回の主な調査の目的としては、この擁壁部の下の部分ですか、そちらのほうでしっかりと改良を行って、そこで壁状のもので液状化の滑りをきちんとブロックして、こちらの事業用地のほうに影響がないような形で対応するための工事となりますので、そこについては担保を含めた中で設計者のほうで考慮して、こちらの工法を選択していただいております。

○委員（西川佳克君） いずれにしても、地震とか災害に関して非常に国民の皆さん、県民の皆さん、市民の皆さんも非常にシビアな状況をキャッチされるので、今後またいろんな地震とか起こったときにどうなのかなというふうになるかも分かりませんので、ぜひそのあたりは市民の方にも情報公開して、大丈夫というのは100%は言えませんが、安心・安全な、消防署が建つわけですから、そこに何か起こったら、えっというふうに、もっとなってしまうと思いますので、ぜひそのあたりは情報もしっかりと市民のほうに伝えていただきたいと思います。要望です。以上です。

○委員（深井優也君） 同じく6ページの当初ボーリング調査位置図なんですけれども、先ほどの説明で土砂崩れが起きたということで、今回工事として111本の柱状改良をして円弧滑りを防ぐためということだったと思うんですけれども、その土砂災害が起きたときの状況というのはどのぐらいの被害があったのか、またその下の人から何か今回の件で言われたこととか、あとは何かそこ自体を買ってくれみたいな話が出ていたりとか、そういう被害があるような場所であつたら。何かそんなような話は出ているもんなんですか。

○総務課長（国本浩二君） 土砂の流出については、令和5年6月に台風2号の大雨により土砂の流出がありました。規模的には、五、六メートル下にビニールハウス等が建設されておりまして、農作物を作っているんですが、状況としては、そのビニールハウスの中まで土砂が流出してしまったということで、ビニールハウスの損壊までには至らなかったんですが、一部農作物が駄目にな

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ってしまったという状況になります。

そのとき、うちの消防隊のほうで土砂の除去等を行いまして、その地権者さんにおきましては、土地を購入してもらいたいとか、そういった要望はなかったです。

○委員（深井優也君） 逆に土地を買ってくれとかって言われたら、そこはそこで先ほどのり面の話とかも出たと思うんで、広くのり面とかにするというのも一つの方法だったのかなとは思いうんですけれども。

先ほど、ほかの提案はどうかというところで2点あったと思います。駐車場を狭くしてというところと、あと、まさにのり面にして。こういったところで、価格的なところというのは見積もったときにそれぞれどれぐらいだったのかというところはあるんでしょうか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） ほかの手法については細かく積算をしているというようなことはございません。

ただ、液状化という部分で、例えば、擁壁をずらした場合、建物をずらした場合、土地を広げた場合等を想定したときに、液状化がありますので、そこをどこできちんと止めるかというような話が出てくるのかなという議論はありました。

ということで、液状化の対応をするためには、やはり同じような地盤改良をするしかないのかなというところの中で、移動するとなると、それプラスまた設計をしたり、調査をしたりというようなことも加わってきますので、ちょっと時間的にも費用的にもなかなかプラスの面というのは得られないのかなということで、今回この形で行かせていただきたいというような形になったというところでございます。

○委員（深井優也君） 分かりました。

被害が出ないように早くというのは、本当に昨今の道路事情でもよく分かりますので、今回、繰り返しになっちゃうんですけど、道路が先にできていて、そのところがこうやって後から液状化のおそれがあるとかというのが発覚したところなんで、多分、北東のほうも結構高低差はあったと思うんですよ。あっちのほうも、再度そういったところも調査されているのかなとは思いうんですけども、今、道路のことを皆さんすごく気にしているところだと思うんで、その辺の説明も丁寧にしていただけたらなと思いますので、よろしくお願いします。要望です。

○委員（佐々木豊治君） 盛んに擁壁の問題を今御議論されておるようなんですけども、従前、私は用地を購入するときに擁壁5メートル、先ほどのハウスの問題が話されておりましたけれども、5メートル下がって擁壁の問題発生しますよということで、この土地で大丈夫かということを何回もただしたことがあるんですよ。ですから今になって擁壁の問題どうだっていうので予算化されていることは、私は大きな問題だと思うんですけど、その辺どうなんですか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 今回の事業計画につきましては、設計の段階でありますし、今回

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

資料としてお示しさせていただきましたこの当初ボーリング調査位置図の中の調査の中で、当初のという話にはなってしまいますけれども、浅層改良で改良した中で十分対応が可能というような結果が出ておりましたので、一応そのような計画で、事業の進め方とさせていただいたというような経緯はございます。

○委員（佐々木豊治君） 私が申し上げているのは次元が違うんですよ。当時のね、あの土地を購入するに当たって、5メートル、トーンダウンしているから、これは将来的にお金がかかるよということを私ただしたんですよ、最初から。それを見込んで皆さんが購入されたわけですよ。その辺よく御理解してくださいよ。再度答弁。

○総務課長（国本浩二君） 当初も擁壁については既存の擁壁があったんですけども、それをしっかり造り変えるということで、新しく造り変える予定でした。今回出たのは、その下の地盤において液状化になるということで、その対策として今回増額補正を組んだというところになります。

○委員（佐々木豊治君） それじゃ隣接のあそこに幼稚園がありますね。若草幼稚園。あの土地に対して、建物を造るのに液状化の問題が実は起きるんだということで、それほどやっていないんですよ、工事を。対応としてね。すぐ隣の、今、消防署の問題で液状化がどうだということです。おかしい話じゃないんですか。少なからず、考え方は。いかがですか。

○消防長（宮崎治君） 今、委員おっしゃる幼稚園の問題なんですけれども、当初の状況というのは消防のほうでもちょっとはかりかねるところなんですけれども、もともと擁壁があったところで、そこを新しく造り直すといったときに再度調査をした結果、今回初めて液状化という状況が把握できたところでございまして、今回の要望としましては擁壁の下の地盤の改良ということでしたので、当初の幼稚園の状況というのはちょっと消防のほうでははかりかねます。

○委員（佐々木豊治君） 再度申し上げますけれども、消防施設だからどうだということを私申したいんですよ。御案内のとおり布佐の一部のほうでいろいろ液状化で大きな問題が起きて、大変なことで、市長も大変御苦労されたことは私も思っておりますけれども、消防署敷地だけで液状化が発生するんだということで考えたならば、あの全体を考えていかなきゃ私はいけないと思うんですよ。いかがですか。

○消防長（宮崎治君） 委員おっしゃるとおりもちろん防災拠点でございまして、地盤に何かあるというのはもちろんいけないところでございまして、今回の調査の結果を踏まえて、大災害、大地震があったときに、液状化等の円弧滑り等、地盤が崩れないような対策を今回取らせていただく。そのために今回、柱状改良ということで地盤の改良をさせていただきたいというところがございます。

○委員（佐々木豊治君） 用地を買うときに、まず一番基本的な考え方として考えていかなきゃいけない問題は、液状化ということが出たならば、これ想定して最初から予算を計上していかなきゃ

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

いけない問題なんですよ。今になってね、どうなっていくという、私どもに言われても、非常に判断が難しいんですよ、はっきり申し上げると。事実、結果で予算を取るために、これ液化化云々ということで私は出したかなんてことを思っているんです、逆に言うと。違いますか。そうですとは絶対言わないと思いますけれども。

○委員長（木村得道君） 暫時休憩します。

午前 11 時 02 分休憩

午前 11 時 02 分開議

○委員長（木村得道君） 再開します。

○消防長（宮崎治君） もちろん当初から分かっていたら、それ相応の予算の計上させていただいたところだと思うんですけども、先ほどもお話の中でありましたとおり、当初、若草幼稚園の建物がありましたので、できる範囲でのボーリング調査はさせていただきました。

その結果、浅層改良で対応可能ではないかという当初の予定でお話を進めさせていただきまして、若草の建物を撤去した後にもう一度擁壁を建てるジャストボーリングの位置で再度調査をした結果、液化化の可能性があるという結果が出たものでございますので、今回の予算の計上になった次第でございます。

○委員（佐々木豊治君） あの地域内、液化化になるということは、誰一人想定していないんですよ、はっきり言うと。ですから当然すぐ道路の左方は、当時、住宅公団でやられた場所で、この間の災害あったときにも湖北台は 1 か所もないんですよ、液化化になったという地域は。少なからず。その辺はどのように考えていますか。

○市長（星野順一郎君） 今ここの消防署が建てられる場所については、随分昔からもここには人が住んでいますから、中里新田の地区であって、ここには大分前から住んでいる方もいらっしゃるし、大分古いお墓もある。それは御存じだろうというふうに思っています。

それよりも南側の中里新田地区についても、当然もっと昔から人が住んでいる場所であって、ここが液化化するというのは湖北の人だったら誰も思わないというふうに思っています。ただ、あり得るとしたら、今の湖北台の 2 丁目とか 1 丁目は当時底地ですから、当然、手賀の海の頃からの入り江ですから、当然これはあり得るとしても、この中里新田のこの地区について液化化を起こすということは、普通、我孫子の人間だったら考えないというのが常識だというふうに思っています。

今回のこの場所については、大雨によって一部崩落したということもあっても、そこについては先ほど説明あったように、若草幼稚園の講堂が建っていて、両端はしっかりとした地盤の中で、一部だけえぐられたような形であったところに、地下室のような形があったというふうに承知をしていますので、その一部分が崩れたというふうに思っています。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

削った後足したのか、あるいはへこんでいたところに盛土をしたのか。やっぱり液状化するといふときには、大体は昔低地であったところ、あるいは切土、盛土したところ、切土したところは大体大丈夫ですけれども、その後、土を移動させたところが非常に大きく液状化したというのが、前回の14年前の東日本大震災の中で、布佐の地区については、御存じのように明治3年のときに堤防が越流した後、長年にわたって水が引かなかったところに宅地を建てたところが大きく液状化した。湖北台についても、たしか10丁目の辺りで液状化をしたところがありましたし、青山台、柴崎台、そしてつくし野においても、我孫子市内の液状化の被害の約2割はそういうところであったという認識をしています。

だから、湖北台だったら絶対大丈夫かというところではないというふうには、それは思いますが、今回の建物を取り壊す前の試掘の段階でのボーリング調査の数値を見れば、今回までのような工法は要らないだろうという判断の下で用地を決めた上で、一部去年の土砂崩れと今回のボーリングのN値の低さから見れば、追加工事をして、周辺の住民の皆さんにも安心感を与えながら、財政的に有利な起債を使っていきながら、工事に着手する必要があるだろうという判断の下で、今回の増額補正、そして工法の変更という形を取らせていただいていますので、ぜひとも御理解をいただければというふうに思っています。

○委員（佐々木豊治君） 市長の答弁を聞いて、分からないことはないんですけどもね、今になってね。今、おっしゃるとおり液状化されたことは、もう私よく知っておりますよ。ただ湖北地域には一切ないんですよ。10丁目にはたしかに1件ありました。1件だけ。それ以外はないんですよね。

ですから、私は少なからず、もし心配するんでありましたらば、最初から液状化の問題の手当てをするということは、これは基本的な考えじゃないんでしょうか。いかがですか、その辺は。

○市長（星野順一郎君） 通常、最初からの液状化の手当てではなくて、今回のような擁壁での対応、ここはあの場所に行ってもらえば分かるように、あちらこちらで擁壁で止められているところは幾つもあります。それは、御存じのように、下の低地の部分はかつては海だったんですから、そこが谷津として残っている、我孫子のよくある特徴的な地形だというふうに思っています。

その谷津をうまく、当時は田んぼとして、あるいは畑として、農地として使いながら、高台のところに人が住んでいた。その高台の場所でもありますから、そこについてはそれほど心配しないで人が住んできた長い歴史があるというのは事実であります。

その中で、今回御指摘のように、建物が建っていればそのボーリング調査は不可能だという現実を踏まえると、今回のように一部土砂崩れがあったところを、もう一度、安全の確認のために再度ボーリング調査をして数値が分かったわけですから、それに対して増額補正をして、工法変更をするというのは当然の結果だろうというふうに思っていますが、委員御指摘のように、事前にとい

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

うのは、建物が建っている限りは不可能だという現実を踏まえれば、逆に建物を建っているときにどうやって調査するのか教えていただければありがたいというふうに思います。ぜひとも御理解をいただきたいというふうに思っています。

○委員（佐々木豊治君） 西側の、じゃ、外壁の問題をまず話させていただきたいと思います。西側というか、ハウスのあるほうですね。

確かにあそこは台風で崩れました。一部ですよ。ですから、そういうことを考えると、従前から私は担当部にお話ししておったんですよ。あそこはもう崩れるから対応しなきゃまずいよということをお話ししておったんです。ところがもう工事契約全部終わって、今日になってやっと擁壁の問題が心配されて、やりますということですから。これは予算としてあんまりよくないんですよ、市長、こういうやり方は。何でもそうなんです。皆さんのうち、例えばうちを買うとき、土地を買うときですね、これはボーリングやらなきゃ駄目だよとか、あるいは液状化になるよということになったら、最初からまずやりますよ、普通の場合。違いますか。どうですか。

○市長（星野順一郎君） 無謀な発言が続いているというふうに思っていますけれども、全ての土地でボーリング調査をして住宅を建てるんだったらば、湖北台団地はできていませんよ。逆に言えば湖北台団地ができていうことは、それだけしっかりしたところでありまして、湖北台の2丁目、東小学校の下については、あそこ一面ずっと田んぼだったんですから、あそこは私も子どもの頃から随分と遊びに行っていましたけれども、そこであっても液状化していませんし、ボーリング調査を全ての敷地でやったというのは聞いたこともない。

逆に言えば、湖北の駅前、南口ですね、あそこの1丁目也非常に低地で、だからこそ北口と南口の階段の差があるという状況ですから。そこについても駅ができて、ロータリーができて、液状化も一切起きていないという状況の中でありまして、全ての場所をボーリング調査をしてから住宅を建てるというのが本当にあるんだったら、私は佐々木委員は湖北台に住んでいないんじゃないかと思いますけれども。様々なところでいろんな形を取って、確かに心配のあるところはボーリング調査は必要でしょうけれども、普通でいけば擁壁で問題がない場所だというふうに私は認識していますし、確かに東日本大震災の後、あのときに言われたのは、明治のときの地図を買えと。明治のときに住宅地、いわゆる集落があったところについては安心だけど、そのときに低地だったとか、近くに小川があったとか、沼地があったとか、そういうところについては、よく調査をした上でという話はあの直後よく出ましたけれども、全て、そういうところをボーリング調査をしろというのは、私は初めて聞きました。

○委員長（木村得道君） 暫時休憩します。

午前11時12分休憩

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

午前11時12分開議

○委員長（木村得道君） 再開します。

○委員（佐々木豊治君） 例えばね、市長ね、我孫子市のハザードマップというのがありますね。あのエリアについては、少なからず問題ないところなんですよ、はっきり申し上げますと。市長もあの土地については、名前は申しませんが、長い間農業をやっていた方がやっていた場所なんです。ですから誰一人液状化になるということは考えていないんです。ですから、なんでここに来て心配してやるんだということを私はただしているんです、最初から。はっきり言うと。

だから湖北台地域全員をやらなきゃいけないんじゃないかというふうになるわけです、逆に言うと。たまたま公共施設だからやるということで、今回になってやるわけですから。その辺は間違わないでいただきたい。私は駄目だと言っているんじゃないんですよ。ですから、なんでここに来て予算を約8,000万円云々、全体含めて計上してやらなきゃいけないかなということで、大変私心配したんですよ。いかがですか、市長。

○市長（星野順一郎君） 繰り返しになりますけれども、当初、この地域は液状化するとは思っていない段階で工事が始まりましたけれども、その後で、昨年の一部の土砂崩れと、それとその後の安全確認のためのボーリング調査の中では、工法変更して安全をさらに確保する必要があるという判断の下で、今回の増額補正と工法変更、そしてそれに伴う工期の延長という形になりますので、これをきちんと対応することによって、この消防署、そしてまた消防の南側にあります防災倉庫、これは多くの人たちも利用するわけですし、13分団がここに移転してくるということも踏まえると、湖北の南側に対しての安全・安心のために、そして湖北から新木地区に関しての消防力の強化、東側についての消防力強化に直接つながるという状況の中では、この場所をしっかりと、安全をもっと確実なものにしながら消防を設置をし、そしてそれに引き続くこの道路工事ですね。この道路工事についても、私が市長に就任する前から決まっている道路線形でありますから、そこを着実にしていくことによって、この消防署が我孫子の東側へ出やすい形態になるわけで、消防力の強化につながる道路だというふうに認識をしていますので、これも踏まえながらきちんと対応していく必要があるというふうに思っていますから、ここについては、今もって繰り返しになりますが、周辺住民の安全・安心を確保しつつ、消防力をきちんと強化をするための追加の補正予算と、そして工法の変更だというふうに理解をしていただいて、ぜひとも御理解を賜ればというふうに思っています。

○委員（佐々木豊治君） よく分かりました。

最後に、市長ね、設計段階で少なからずこういうことは調査するんですよ、普通は。基本的に。その辺はどうなんですか。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 繰り返しの回答にはなるかとは思いますが、当初の調査

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

の中では、設計の段階で調査していますけれども、委員おっしゃるとおり、液状化というのはこの場所では可能性は低いよというような結果をいただいております。その中で、工事のほうの設計をしていただいて、積算をしていただいてということで工事スタートしております。

実際に、建物があって、そのとき擁壁を建てる直下の部分、そこで調査ができなかったものから、工事に際して、より確実に大丈夫だろうなということを確認するために調査をしたところ、液状化が確認されてしまったというような形になります。

最初の当初からそのジャストボーリングができて、液状化が分かっているということであれば、設計の段階でそういったような形で組み込みまして、予算もその形で御要望させていただくという形にはなかったかと思うんですけれども、最初の設計の段階では液状化をするというような結果は出ておりませんでしたので、その段階で液状化対策まで含めた地盤改良をするということも、またちょっと過剰な投資という可能性も出てきますので、そういう形で対応させていただいてはいたということで御回答させていただきます。

○委員（佐々木豊治君） 過剰な投資という言葉はちょっとまずい言葉だよ。少なからず。私、前段で申し上げたじゃないですか。その当時で設計やって、大丈夫だからということで12億1,000万円云々の予算を計上されたわけですよ。含めてですよ、はっきり言うと。ここに来て約8,000万円使うわけですよ、13億円何がしになっちゃうんですよ。はっきり申し上げますと。今、我孫子市は大変財政が厳しい中で、私は申し上げているんですよ。だから、その辺は皆さん考えていかなきゃまずいですよ、こういうことは。

たまたま消防署施設の問題ですけれども、今後、様々な問題が発生しますよ。特にこれは建物なんか非常に物価が高くなって、先が分からない状況の中でね。こういう公共施設を造るときには十分、皆さんが献身され検討していかなければ、私はいけないと思っている。その辺どうなんですか。お願いいたします。再度。

○総務課長補佐（勝矢秀樹君） 当初、設計時の調査に基づいて、その調査結果で法的な部分の要求を満たした中で、きちんとした地盤改良ですか、擁壁の下で擁壁をきちんと安定させることができる地盤改良をということで設計していただいて、対応を図った部分はあるんですが、今回、擁壁を実際に造っていこうという段階で、実際にその直下で調査をしたら、そういった対策も必要だということで、ちょっとプラスの部分の経費が発生してしまったという形になります。

湖北の消防署を整備するに当たっては、大きな金額が必要になって、整備に時間もかかった中で対応しておりまして、委員おっしゃるとおり、少しでも効率的になるべく経費をかけない中で、効果的な有効な整備を進めていく必要があると思っておりますので、その辺今後も含めてしっかりと関係課と協議を図りながら進めさせていただければと思っております。

○委員（深井優也君） 少し前向きな意見として、せっかくこうやって柱状改良ですごく地盤が硬

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

くなるんだったら、もう逆にそれをアピールするみたいな感じで、例えばボルダリングができるような塀にしてあげるとか、何かそういった形でプラスになるようなことも考えて、市民が集まって、これが逆のほうで市にとってプラスになればいいのかなというふうにも思うので、何かそんなことも検討していただければなとは思っています。

ぜひよろしくをお願いします。要望です。

○委員長（木村得道君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（木村得道君） ないものと認めます。

議案第１号に対する質疑を打ち切ります。

暫時休憩いたします。

午前１１時２１分休憩

午前１１時２３分開議

○委員長（木村得道君） 再開いたします。

議案に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（木村得道君） ないものと認めます。

これより採決いたします。

議案第１号、令和６年度我孫子市一般会計補正予算（第１１号）について、原案に賛成の委員は起立願います。

（ 賛 成 者 起 立 ）

○委員長（木村得道君） 起立全員と認めます。

よって議案第１号は可決すべきものと決定いたしました。

以上で本委員会を散会いたします。

お疲れさまでした。

午前１１時２４分散会